

2025 年 6 月 27 日

医学研究のお知らせ

医療法人社団ときわでは、下記の臨床研究を日本在宅医療連合学会 倫理審査委員会の審査を受けて実施いたします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。

〔研究課題名〕

小児/AYA 世代(0～25 歳)がんの在宅緩和医療の臨床的特徴および診療内容・アウトカムに関する後方視的研究

●研究背景

当法人は以前より小児および AYA 世代(0～25 歳)の悪性腫瘍(以下、小児/AYA 世代がん)の患者さんに対する在宅緩和医療に積極的に取り組んでおります。小児/AYA 世代がんの在宅緩和医療は日本国内で近年普及しつつありますがまだ地域によりばらつきがあるのが現状です。

●研究目的・方法

この研究は小児/AYA 世代がんの在宅緩和医療の実態を明らかにし、今後小児/AYA 世代がんの在宅緩和医療が普及するために必要な課題を抽出することを目的としています。当法人で小児/AYA 世代がんの在宅緩和医療を受けた患者さんの臨床的特徴や行った診療の内容、アウトカムについて統計的手法を用いて解析を行い、疾患毎の違いについて考察を行います。

●対象となる方

2018 年 4 月～2024 年 7 月までの間に当法人(赤羽在宅クリニック、大宮在宅クリニック)で在宅緩和医療を受けた小児/AYA 世代(0～25 歳)がんの患者さん

●研究期間

研究期間は日本在宅医療連合学会の倫理委員会の承認が得られてから 5 年間

●利用するカルテ情報

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。電子カルテ上に保存されている患者データ（初診時年齢・性別・疾患名・臨床症状・診療内容・診療期間など）を研究に利用します。患者の氏名・電話番号・住所など、個人を特定できる内容は含まれておりません。最初に、集計ソフト上でカルテの ID とともにデータを集計しますが、ランダムに症例番号を振った後、カルテの ID は削除いたします。別途、カルテの ID と症例番号の対応表の作成し、対応表のデータファイルは研究責任者のみアクセスできるようにパスワードを設定いたします。

●情報の管理

研究責任医師は、本研究が終了した日から 5 年間、本研究に関する記録を保管します。本研究に用いるデータは医療法人社団ときわ内で共同担当者のみからアクセス可能なクラウド上または医療法人社団ときわ内の VPN（Virtual private network の略、パブリックネットワーク上に構築した限られた人しかアクセスできないネットワーク）のみに接続可能なパーソナルコンピュータ上に保存し、対応表以外のデータファイルには、研究責任者・共同担当者のみアクセスできるようにパスワードを設定いたします。

情報の管理責任者 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師 森 尚子

●研究参加の自由

この研究に参加されるかどうかは、患者さんの自由です。カルテ情報の使用を希望されない方は下記「問い合わせ先」までご連絡ください。データを除いて研究します。ただし連絡いただいた時期が全体の統計を出す段階に入っていた場合は、個別データを削除することができませんこと、ご了承ください。

●研究組織

・研究代表者：森尚子 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

・分担研究者：小畑正孝 医療法人社団ときわ 理事長

堀木としみ 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

永野牧郎 医療法人社団ときわ大宮在宅クリニック 院長

杉山正伸 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

大川聖子 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

鈴木喬悟 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

宮本二郎 医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック 医師

問い合わせ先

医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック

電話番号：050-3823-2316（代表）

担当医師：森 尚子